

令和7年度第1回 大津市歴史博物館協議会 議事録

日 時：令和8年(2026)3月13日(金) 14時～15時30分

場 所：大津市歴史博物館 講堂

出席委員：11名(会長・副会長を含む)

事務局：6名(館長・副館長を含む)

次第

- 1.開会
- 2.歴史博物館長あいさつ
- 3.協議事項
 - (1) 令和7年度の事業結果について
 - (2) 令和8年度の事業計画について
- 4.閉会

《協議事項》

議題(1) 令和7年度の事業結果について

委員

貸しギャラリーの使用料についての規定についてお聞かせください。

事務局

企画展を開催しない時期に企画展示室を有料でお貸ししています。大津市と市外の方で費用額を分けています。

委員

博物館学芸員実習の受け入れの実績を報告事項に入れておいた方がよいと思います。

事務局

毎年8月の第4週に十数校、約30人程度を受け入れて、5日間実施しています。今後は資料に盛り込むようにいたします。

委員

民俗資料の廃棄問題について、いろいろな博物館の収蔵庫を拝見したことがありますが、どこの館も収蔵庫はいっぱいようです。大津市歴史博物館の収蔵庫の現況と対策についてお聞かせください。

事務局

開館して35年経過しており、収蔵スペースが決してたくさんあるわけではありません。

しかし、開館以来余裕をもって置いていたものを整理することで、収蔵場所の確保に努めています。この中には調査のための借用資料も含まれます。今後、10年、20年先の問題として、収蔵スペースの課題は認識しています。収蔵庫の拡張は、温湿度の管理をしたうえでスペースを確保する必要があり、現実的には難しく、まず現状のスペースで運用していくことを整理しながら考えております。

委員

小中学校での出張授業で用いるワークシートは、どの程度の頻度でバージョンアップしていますか。

事務局

小学校6年生の市のうつりかわりの授業で用いるものは、大きなバージョンアップはなく、基本的な地域の歴史をおさえたものを用いて、最新情報については口頭で説明しています。学区ごとに説明を変える必要があるため、博物館で収蔵している写真などを用いて学校ごとに説明資料を作成して対応している状況です。今年度の例として、唐崎小学校の授業では、農村が住宅地になったこと、航空隊が置かれ滑走路があったこと、戦後に民間の飛行場になり飛行機が発着していたことなどを説明し、その映像をこどもたちにご覧いただいたところ、非常に関心を持っていただけたようでした。今後は学校にデータ提供して活用していただくことも検討します。3年生の昔のくらしの授業については、民具について学ぶワークシートを使っていますが、定期的なバージョンアップはしておらず、授業で実際に見せる民具に合わせて都度運用を変えています。児童向けのワークシートだけでなく、教員向けの授業の進行についてのマニュアルを作成し、事前に先生にお渡しして授業がどのように展開するか理解していただくようにしています。

委員

企画展の「瀬田国民学校絵日記」展は起承転結があって非常によかったと思います。また収蔵品の貸出実績がこんなにあったのかと分かりました（特にMIHOミュージアム）。今後もよく活用していただくことを期待します。

委員

当山（石山寺）でも、未指定文化財調査事業の恩恵を受け、報告書を刊行していただきありがとうございます。ご本尊様の像内に入っていた胎内仏についてもご配慮をいただき、本来は外に見えるように出すものではないという信仰上の理由で、web版ではお姿の掲載を控えていただくなど、学術的なことだけでなく、お寺の事情に即して一緒に守ろうとしてくださっているスタンスが非常にありがたいと思っておりますので、この場で共有させていただきます。

瀬田国民学校の展示も非常によいものだと思います。小中学生の戦争に対する思いを記し

た作文を読ませていただく機会があり、現在のこどもたちは映画など物語を通じて戦争について思いを馳せることが非常に多いようだと思います。同じ年代のこどもがどうしていたかわかれば、その当時のことをよりよく考えてくれるようになるのではと感じたので、非常に希望のある企画と思いました。

文化庁の望ましい基準はこれまでと全然違う方向性ですが、廃棄問題についてはお寺でも同様に、資料をどこまで残していくかという悩ましい問題を抱えています。明確な基準がないのでとりあえず全部残していこうとなると、収蔵施設を新設していかなければならないということにもなりますので、今後相談にのっていただけたらと思っております。

収益を上げるべきという問題について、歴史博物館は今後どう対応していくかお聞かせください。

事務局

未指定文化財調査の成果は、報告書として見える形で残していくのが大事と考えていますが、コストの問題でこれまでは実施できていませんでした。印刷したものを図書館や長く保管していただけたところに置くのも一案ですが、多くの方の目にふれるために、多くの部数を刷らずにPDFでインターネット公開をしております。デジタル化は望ましい基準でも示されているため、必要なものと考えています。しかし寺社の場合は、防犯など様々な問題が生じる可能性もあるため、所蔵者に公開するかもしれないとまずお話ししたうえで、報告書の刊行を告知し、実物は博物館や図書館で見させていただくなど、ワンクッション置かれたの公開方法をとらせていただいています。

廃棄問題については、博物館の望ましい基準について、パブリックコメントが終わった段階で、単なる廃棄でなく取捨選択などの文言を増やしていこうと文化庁は考えているようです。歴史博物館では、基本的にはすべての資料を残していきたいのですが、今後一定の基準を決めて残すべきものを選ぶことも必要かと考えています。闇雲に廃棄ではなく、議論を尽くして考えていきたいと思っております。

収益について、パブリックコメントで出ているのは、博物館運営のために収益や寄付が非常に大切なものであるため、それらを自分たちで集めていく姿勢が必要というニュアンス、それ以上でもそれ以下でもないと考えております。博物館は展示のみならず調査研究や収蔵など、さまざまな機能を持って運営しており、その中で収益を中心に考える必要はないと考えております。しかしながら運営を安定化させることについて考える必要はあると思っております。

委員

収益とは、補助が得られなくても自立していけるようにしてほしいという考え方かと思っております。そのためには、博物館が何をしているかを知っていただいて、来ていただく必要があります。令和6年度は、大河ドラマの効果で大幅に来館者数が伸びたように、外部組織との連携も必要ではないかと思っております。天津市歴史博物館は歴史文化に関する事業をしつかり展

開し、勤務していた学芸員が国立博物館に転出して活躍するなど、非常にレベルの高い研究をしていることは知っており、そうしたことについて私自身尊敬しており、専門家の間にはよく知られています。しかし、一般の方や子どもたちにはよくわからないと思います。一方、琵琶湖博物館ではナイトミュージアムや滋賀のお酒のイベント、東京藝大のプロによるコンサートなどを開催し、一般の方が来館するイベントを開催しているようです。同様の体験をれきはくもするべきではと考えます。かつては、土曜講座など、小学生に地域の歴史を体験させてくれるイベントがありました。興味関心を体験すると、大切だということを知ってもらえると思います。未指定文化財調査のなかで食文化も取り上げられていますが、たとえば湖東では、小学校で地域の食事を作る体験イベントを行い、その様子がニュースでも取り扱われています。学芸員は忙しく、職員も少ないなかで、PRをどうやっていくかが問題です。市庁舎が移転し、県立博物館も開館するので、総合的な連携を考えてほしいと思います。園城寺に隣接する場所柄はすばらしく、多くの人を楽しめる場所になってくれたらうれしいです。京都文化博物館のように、高齢者にボランティアとして活動していただくのもお考えいただきたいです。先日、声明講演をやっと思聴できました。日本の宗教音楽です。同様のイベントをもっと開催していただきたいと思います。

委員

ワークショップにおいて、「びわはな☆プラネタリウム」の応募数がダントツで多いのはなぜでしょうか。

事務局

「プラネタリウム」ということばが子どもにイメージしやすかったのではないかというのが正直なところですが、おもちゃの名前は15文字以内で大学生に考えていただいています。おもちゃの中身ではなく名前が応募数が上下するのは例年の傾向であるため、おもちゃのイラストをチラシやホームページに掲載して応募の多寡を平準化しようと試みています。

委員

そのチラシはどのように配布・掲示していますか。

事務局

成安造形大学のプロジェクトで、チラシを作成してもらっています。数年前までは例年1種類でしたが、力作のチラシが多いため3種類すべてを採用して計18000部を印刷し、学校ごとにどれか1種を選んで送付しています。チラシデザインが応募の多寡に影響しているとは考えていません。

委員

講堂などは、企画展示室のように貸し出しはしていますか。利用後、せっかく来たのだから、と展示をみていただけるきっかけになるのではと思います。

事務局

現状はお貸しできるルールがありませんが、そうした効果は見込めるのかもしれませんが。ただ、貸しギャラリーによって、逆に歴史博物館の企画展示事業が自由に展開できないというデメリットも抱えております。講堂なども貸し出すと歴史博物館の事業に差し障る可能性があることを踏まえて検討することになります。団体学習で学芸員が説明する際、講堂で勉強会をして展示見学をみていただくことなどはあります。適宜こうした対応をしていることについてお伝えしていくことも必要かと感じました。

委員

講堂を貸し出す場合は有料でしょうか。

事務局

お貸しするルール自体がありません。常設展示を見ていただく際に説明場所として活用し、別途料金はいただいているのが現状です。

委員

講堂はどの程度の頻度や期間、博物館の事業で活用していますか。

事務局

れきはく講座が最も多く、週に1度以上は利用します。特に土日はコンスタントに使っています。貸しギャラリーの表彰式や関連の講演会、団体説明の際も使っています。実際の稼働は年50日、60日程度です。

委員

規則の問題で難しいかもしれませんが、収益の安定化という点で、空いている日があるのであれば、貸し出しを検討してもよいかと思えます。

委員

来館者数の統計を見て大河ドラマの効果が大きいことを実感しました。今年の秀吉の大河ドラマにあわせて企画展をされるとうかがっています。小学校に行ったりしていることは今後も継続していただきたいです。れきはく講座は自分も受ければよかったと思う講座がたくさんあり、年間通じて数多く開催していることはすごくいい活動だと思います。こうした活動をもっとぜひPRをしていただきたいです。マネタイズ（収益化）の問題にも関わることはないでしょうか。れきはく講座は有料ですか。対象は歴博カード会員だけでしょうか。

事務局

れきはく講座は有料で受講いただいています。一般来館者も受講できます。歴博カード会員という、展覧会をご覧いただける定期券をお持ちの方には割引料金を適用しています。

委員

来年度のスケジュールが決まった段階で、ぜひいろんなところでPRしてほしいです。

委員

ドット絵の大津絵がとてもかわいいと思いました。収益の面で、ミュージアムグッズも要になるのではないのでしょうか。今後の展望はどうなっていますか。ネットでミュージアムグッズを購入できますか。

事務局

ミュージアムグッズは、大津絵に関するものだけでなく、お寺様にご協力いただき、通常非公開の仏像の写真を載せたクリアファイルなどもあります。売り切れたグッズを再発注することもあります。こういったドット絵などは受付職員がデザインし、ホームページに使っています。毎年どういうものを作ろうか打ち合わせをしていますが、なかなかアイデアが広がらないので、委員の皆さまにぜひご指導いただきたいところです。メールで注文を受けつけておりますが、役所としてのルール上、現金書留を通じてお金をお送りいただき販売させていただきます。

委員

ドット大津絵は非常に強力なコンテンツではないかと思います。ここに来ればレアなものを買えるという仕掛けを打ち出していくとよいのではないかと思います。

議題2 令和8年事業計画について

委員

次年度計画されている事業は多岐にわたっており、非常におもしろいと思っているので継続していただきたいと思います。費用の話は、最終的には多くの方に利用していただくということになるかと思いますが、明らかに大河ドラマの効果で昨年度は来館者が多く、今年も同様の効果が期待できるのではと思います。幸いにも滋賀県は大河ドラマの舞台となることが多いので、それをいかに活用できるか、NHKに全面的にご協力していただくと随分違ってくるのかなと思います。

大津市歴史博物館のことをあまり市民が知らないという問題があるのではないのでしょうか。歴史博物館は平成2年の開館ですが、旧志賀町は平成18年3月20日に合併しており、旧志賀町の住民の方は、大津市役所はわかっても歴史博物館がどこに存在するのかは意外と知られていない可能性がまずあります。中心地から遠い住民は同様のことがあるのかもしれない。いかに歴史博物館に来ていただくかのためにPRが必要だと思います。コミュニティセンターでは委託事業として公民館の事業を引き受けており、歴史博物館のポスターを回覧に付していますが、広い年代の方がよく理解しているかは疑問だと思っています。今年からいろんな事業をしています、こんな企画があるから皆さんに周知してくださいということであれば、自治連合会でも協力できることはあるので、働きかけいただけたらば対応

していきたいと思っております。いろいろな企画を考えられておもしろいと思っております。各地域での研修会などができると一番おもしろいと思うので、ご多忙かと思いますがぜひご協力いただきたいと思っております。個人的にはよく来館していますが、2階のソファから見える琵琶湖の景色が気持ちよく、夏は涼しく冬は暖かい。またお客様があまりおられないので、非常に静かで、瞑想に非常に向いていると思っております。京都の博物館に行くこともありますが、ざわついているなどと思っております。天津市歴史博物館ならではの特徴や、天津絵以外にも何か目玉をピックアップできればよいなと思っております。

委員

来年度始まってすぐ、女性の会のリーダー研修で講演をお願いしましたら、快く引き受けていただきありがたいと思っております。天津市はやはり歴史があり、古代から近代まで目玉になる出来事に必ず登場するのに、ご存じない方がかなり多いと感じます。瀬田の唐橋、急がば回れ、壬申の乱など、天津の歴史を知って、そんなすごいところに住んでるんやなっていうことを認識していただくことが、郷土愛を育むことに繋がると思っております。それも天津市歴史博物館の使命のひとつだと思います。それに関して、令和7年度の講師派遣状況を見ると、2月に小学校教員の初任者研修に行っていることは、非常に大事と思えました。天津にこんな歴史があるんだよと子どもたちに広めるため、責任をもって教育していただく教員の方にもっと歴史を勉強してほしいと思っております。教員への研修の講師は必ず今後も引き受けていただくようお願いしたいです。

事務局

あくまで教育センターで企画していただいている研修です。小中学校の教員になられる方は最初の年に様々な研修を受けられますが、そのなかで歴史を知っていただくために、来館して展示をみていただくようにしています。教員は必ずしも天津市民ではないため、研修の短い時間のなかで天津市の歴史のポイント、知っておくべき事をお伝えしています。今後も継続していくことになろうかと思っております。

委員

企画展もミニ企画展も非常に興味深いです。歴史文化の情報センターとして、天津の歴史データベースの公開点数の増加について触れられていますが、どの博物館もアーカイブ構築は使命となっているかと思っております。デジタル化の優先順位はどうつけていらっしゃるでしょうか。絵図の高精細画像について、どの程度の解像度のものかもお聞かせください。

事務局

デジタル化については、ルーティンにしていかなければならないと考えています。機器が不十分ななか始めたデジタル化なので、定期的に写真を取り直す必要もあります。開館当時はフィルムベースで公開が進まないこともありましたが、新収蔵資料についてはデジタル写真を撮影し、それを公開していく流れを作る必要があります。今年度の天津絵の展示であ

れば、それにあわせてデジタル化のためきちんとした写真を取り直しました。展覧会などとの事業との関連のなかでデジタル化につなげていかないと、追いついていかないとというのが現状です。

絵図の高精細の程度ですが、ホームページのデジタルアーカイブ上で3～5mmの文字が拡大して読めるほどの解像度となっています。

委員

静嘉堂など、名だたるミュージアムでも作品修復のためのクラウドファンディングが行われるようになってきています。新規購入は難しいかと思いますが、収蔵資料のなかで大津にかかわりのある作品は市民に親しい作品もあるため、クラウドファンディングをすれば資金が集まるのではないのでしょうか。外部資金の獲得も資金問題に対する一案と思います。

委員

花押作りワークショップの対象は小学生とのことですが、私個人も作ってみたいです。こどもと共に親も参加できるのでしょうか。抽選はどのようにしていますか。

事務局

もちろんご参加いただけます。一応小学校向けとはしていますが、大人の方にもかなりご応募いただいております。親子で参加される方もいらっしゃいます。こども向け、大人向けのテキストを作成し、抽選はデータからランダムに抽出し当落を決めています。